

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2003年3月14日設定）	
運用方針	豪ドル債券インカムマザーファンド受益証券への投資を通じて、主として高格付の豪ドル建ての公社債に実質的な投資を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビーフンド	豪ドル債券インカムマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	豪ドル建ての公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の利子等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン

愛称：夢実月

第198期（決算日：2019年10月8日）
 第199期（決算日：2019年11月8日）
 第200期（決算日：2019年12月9日）
 第201期（決算日：2020年1月8日）
 第202期（決算日：2020年2月10日）
 第203期（決算日：2020年3月9日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン」は、去る3月9日に第203期の決算を行いましたので、法令に基づいて第198期～第203期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配					
	円	円	円	%	%	%	%	百万円
174期(2017年10月10日)	6,216	60	60	0.1	97.1	—	—	128,123
175期(2017年11月8日)	6,148	60	60	△0.1	97.3	—	—	126,558
176期(2017年12月8日)	5,955	60	60	△2.2	97.3	—	—	123,292
177期(2018年1月9日)	6,146	60	60	4.2	97.0	—	—	127,247
178期(2018年2月8日)	5,851	60	60	△3.8	97.6	—	—	120,114
179期(2018年3月8日)	5,642	60	60	△2.5	97.7	—	—	115,998
180期(2018年4月9日)	5,517	60	60	△1.2	97.1	△11.1	—	113,432
181期(2018年5月8日)	5,449	60	60	△0.1	97.4	△1.6	—	112,245
182期(2018年6月8日)	5,498	60	60	2.0	97.2	△6.4	—	113,421
183期(2018年7月9日)	5,370	60	60	△1.2	97.6	△1.6	—	111,434
184期(2018年8月8日)	5,346	60	60	0.7	97.6	△1.6	—	111,816
185期(2018年9月10日)	5,058	60	60	△4.3	97.8	△4.8	—	107,226
186期(2018年10月9日)	5,072	45	45	1.2	97.1	—	—	107,969
187期(2018年11月8日)	5,200	45	45	3.4	96.7	—	—	109,786
188期(2018年12月10日)	5,083	45	45	△1.4	97.7	△5.8	—	106,274
189期(2019年1月8日)	4,848	45	45	△3.7	96.9	△9.3	—	101,167
190期(2019年2月8日)	4,822	45	45	0.4	97.2	—	—	100,430
191期(2019年3月8日)	4,826	45	45	1.0	97.5	—	—	100,342
192期(2019年4月8日)	4,857	45	45	1.6	97.0	—	—	100,915
193期(2019年5月8日)	4,722	45	45	△1.9	97.1	—	—	97,847
194期(2019年6月10日)	4,630	45	45	△1.0	97.6	—	—	95,778
195期(2019年7月8日)	4,605	45	45	0.4	97.3	0.0	—	94,974
196期(2019年8月8日)	4,350	45	45	△4.6	97.2	—	—	89,213
197期(2019年9月9日)	4,367	45	45	1.4	97.4	—	—	89,400
198期(2019年10月8日)	4,303	45	45	△0.4	98.0	—	—	87,407
199期(2019年11月8日)	4,395	45	45	3.2	97.7	0.1	—	88,318
200期(2019年12月9日)	4,320	30	30	△1.0	98.1	△0.0	—	86,075
201期(2020年1月8日)	4,265	30	30	△0.6	97.1	—	—	83,578
202期(2020年2月10日)	4,213	30	30	△0.5	97.9	0.0	—	81,269
203期(2020年3月9日)	3,884	30	30	△7.1	97.7	—	—	74,108

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			騰 落 率	騰 落 率			
第198期	(期 首) 2019年9月9日	円 4,367		% —	% 97.4		% —
	9月末	4,365		△0.0	97.6		—
	(期 末) 2019年10月8日	4,348		△0.4	98.0		—
第199期	(期 首) 2019年10月8日	4,303		—	98.0		—
	10月末	4,444		3.3	97.9		0.0
	(期 末) 2019年11月8日	4,440		3.2	97.7		0.1
第200期	(期 首) 2019年11月8日	4,395		—	97.7		0.1
	11月末	4,357		△0.9	97.3		—
	(期 末) 2019年12月9日	4,350		△1.0	98.1		△0.0
第201期	(期 首) 2019年12月9日	4,320		—	98.1		△0.0
	12月末	4,428		2.5	96.3		—
	(期 末) 2020年1月8日	4,295		△0.6	97.1		—
第202期	(期 首) 2020年1月8日	4,265		—	97.1		—
	1月末	4,253		△0.3	97.0		△0.0
	(期 末) 2020年2月10日	4,243		△0.5	97.9		0.0
第203期	(期 首) 2020年2月10日	4,213		—	97.9		0.0
	2月末	4,157		△1.3	98.1		—
	(期 末) 2020年3月9日	3,914		△7.1	97.7		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

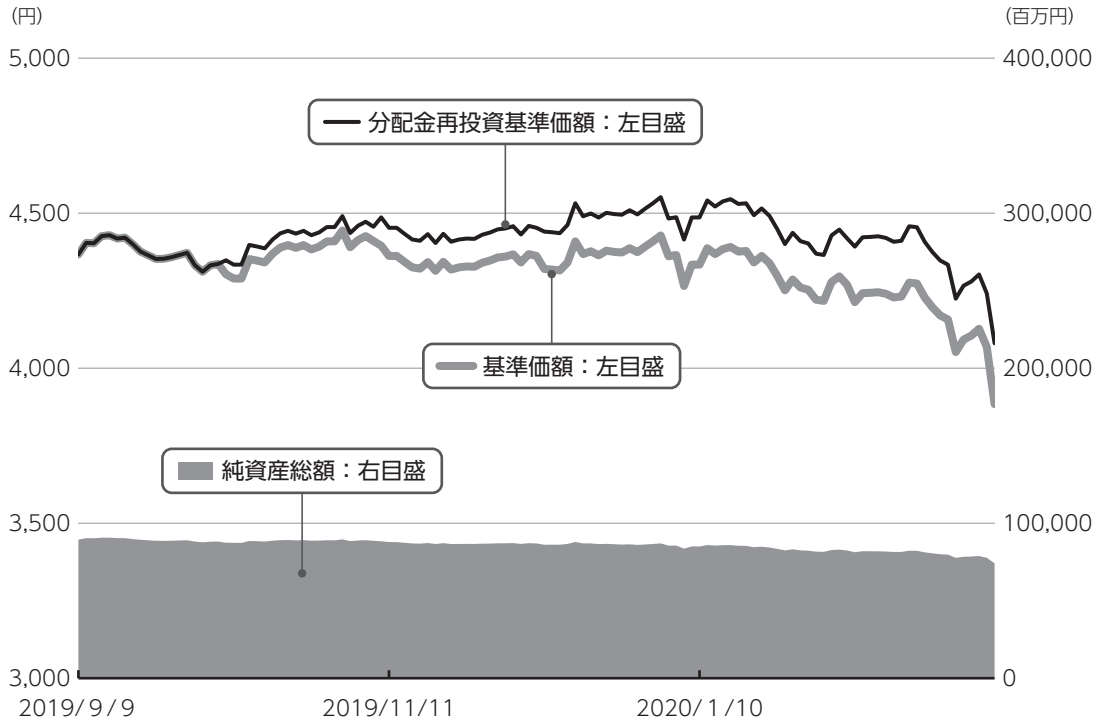
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第198期～第203期：2019年9月10日～2020年3月9日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第198期首	4,367円
第203期末	3,884円
既払分配金	210円
騰落率	-6.6%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ6.6%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

> 基準価額の主な変動要因

上昇要因

債券利子収益を享受したことや豪州金利が低下したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

豪ドルが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

第198期～第203期：2019年9月10日～2020年3月9日

投資環境について

▶ 債券市況

豪州金利は低下しました。

2020年2月半ばにかけては、米中間の通商問題に対する懸念が後退したことなどが金利上昇要因となる一方、低迷しているインフレ率を背景に豪州連邦準備銀行（RBA）が利下げを実施したことなどが金利低下要因となり、概ね横ばいで推移しました。その後は、新型コロナウイルスの拡散により世界経済に対する減速懸念が高まったことなどから、豪州金利は低下しました。

▶ 為替市況

豪ドルは対円で下落しました。

2020年2月半ばにかけては豪ドルは対円で概ね横ばいで推移したものの、それ以降は新型コロナウイルスの拡散により、投資家のリスクセンチメントが悪化したことなどから、豪ドルは対円で下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン

主要投資対象である豪ドル債券インカムマザーファンド受益証券への投資を通じて、豪ドル建ての信用度の高い公社債を高位に組み入れた運用を行いました。

▶ 豪ドル債券インカムマザーファンド組入比率

当作成期を通じて、豪ドル建ての債券現物の組入比率は高位を維持しました。なお、デュレーション（平均回収期間や金利感応度）調整のため、債券先物も活用しました。

デュレーション

ファンド全体のデュレーションは、RBAの緩和的な金融政策を見込み、利下げの織り込みを注視しながら、機動的に操作しました。結果、作成期末のデュレーションは2.8年程度となっています。

残存期間構成

デュレーションを短期化する局面では短期ゾーンの組入比率を高めとし、長期化する局面では中長期ゾーンの組入比率を高めとしました。

債券種別構成

豪州国債に対する相対的なスプレッド（利回り格差）動向を睨みながら、債券種別構成を調整しました。当作成期は、国債の組入比率を引き下げ、国際機関債などの組入比率を引き上げました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第198期 2019年9月10日~ 2019年10月8日	第199期 2019年10月9日~ 2019年11月8日	第200期 2019年11月9日~ 2019年12月9日	第201期 2019年12月10日~ 2020年1月8日	第202期 2020年1月9日~ 2020年2月10日	第203期 2020年2月11日~ 2020年3月9日
当期分配金 (対基準価額比率)	45 (1.035%)	45 (1.014%)	30 (0.690%)	30 (0.698%)	30 (0.707%)	30 (0.766%)
当期の収益	7	11	7	7	7	6
当期の収益以外	38	33	22	22	23	24
翌期繰越分配対象額	1,013	980	958	935	913	889

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ 三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン

豪ドル債券インカムマザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち、マザーファンドのポートフォリオの構成に近づけた状態を維持する方針です。

▶ 豪ドル債券インカムマザーファンド 組入比率

安定した利子収益の確保をめざし、引き続き債券現物の高位組み入れを維持する方針です。

デュレーション

豪州の金融政策の方向性、グローバルな景気動向を睨みながら、機動的に操作する方針です。

残存期間構成

デュレーションを長期化する局面では中長期ゾーンを、短期化する局面では短期ゾーンの組入比率を高めとする方針です。

債券種別構成

国債に対する相対的なスプレッド動向や市場のボラティリティ変動要因などに注視し、必要に応じて組入比率を調整する方針です。

2019年9月10日～2020年3月9日

1万口当たりの費用明細

項目	第198期～第203期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	25	0.576	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(11)	(0.259)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(13)	(0.289)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.028)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.001	(b) 売買委託手数料 = 作成期中の売買委託手数料 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(先物・オプション)	(0)	(0.001)	
(c) その他費用	0	0.008	(c) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.006)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	25	0.585	

作成期中の平均基準価額は、4,324円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

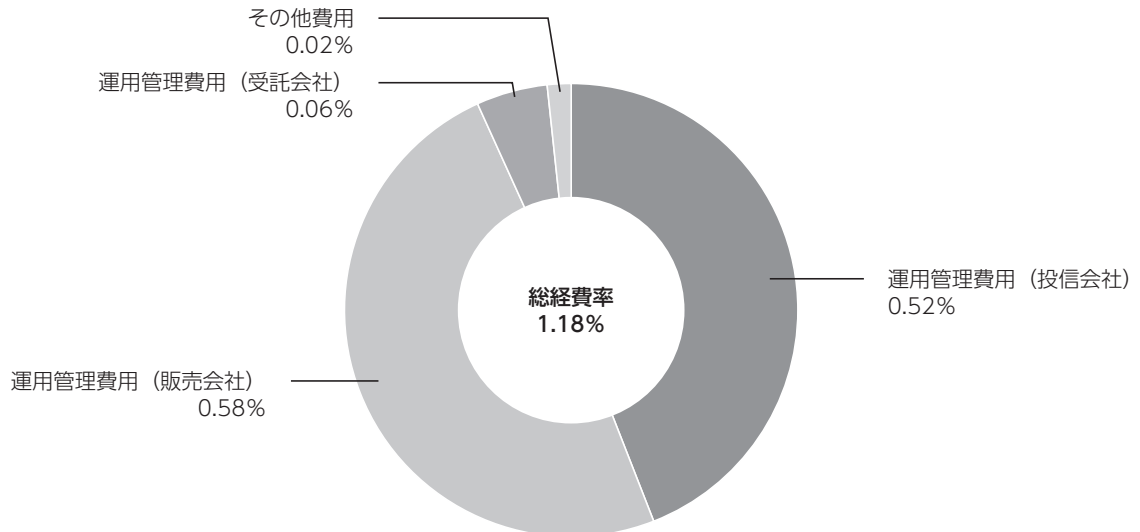
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.18%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年9月10日～2020年3月9日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第198期～第203期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
豪ドル債券インカムマザーファンド	837,347	833,815	11,492,119	11,479,173

○利害関係人との取引状況等

(2019年9月10日～2020年3月9日)

利害関係人との取引状況

<三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン>

該当事項はございません。

<豪ドル債券インカムマザーファンド>

区 分	第198期～第203期					
	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	B A	うち利害関係人 との取引状況D	D C		
	百万円	%	百万円	百万円	%	
為替直物取引	—	—	10,164	509	5.0	

平均保有割合 96.4%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行です。

○組入資産の明細

(2020年3月9日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第197期末		第203期末	
	口 数		口 数	
		評 価 額		
	千口	千円	千口	千円
豪ドル債券インカムマザーファンド	90,760,205		80,105,433	73,921,293

○投資信託財産の構成

(2020年3月9日現在)

項 目	第203期末	
	評 価 額	比 率
豪ドル債券インカムマザーファンド	千円 73,921,293	% 98.7
コール・ローン等、その他	970,258	1.3
投資信託財産総額	74,891,551	100.0

(注) 豪ドル債券インカムマザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(77,327,214千円)の投資信託財産総額(78,241,917千円)に対する比率は98.8%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=67.44円			
--------------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第198期末	第199期末	第200期末	第201期末	第202期末	第203期末
	2019年10月8日現在	2019年11月8日現在	2019年12月9日現在	2020年1月8日現在	2020年2月10日現在	2020年3月9日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	88,521,228,209	89,430,651,763	86,886,216,227	84,347,404,336	82,057,208,162	74,891,551,934
コール・ローン等	323,400,989	325,084,678	344,747,106	304,639,547	304,024,761	294,848,051
豪ドル債券インカムマザーファンド(評価額)	87,200,273,083	88,102,703,151	85,870,586,220	83,371,030,709	81,073,695,964	73,921,293,678
未収入金	997,554,137	1,002,863,934	670,882,901	671,734,080	679,487,437	675,410,205
(B) 負債	1,113,712,602	1,112,509,327	810,250,303	769,294,216	787,293,549	782,906,676
未払収益分配金	914,059,485	904,236,770	597,696,929	587,860,011	578,643,864	572,427,763
未払解約金	118,481,274	120,986,123	126,798,086	98,845,244	120,619,186	138,843,222
未払信託報酬	80,848,340	86,938,088	85,413,572	82,259,427	87,679,708	71,349,846
未払利息	118	603	73	504	84	455
その他未払費用	323,385	347,743	341,643	329,030	350,707	285,390
(C) 純資産総額(A-B)	87,407,515,607	88,318,142,436	86,075,965,924	83,578,110,120	81,269,914,613	74,108,645,258
元本	203,124,330,164	200,941,504,600	199,232,309,799	195,953,337,320	192,881,288,055	190,809,254,338
次期繰越損益金	△115,716,814,557	△112,623,362,164	△113,156,343,875	△112,375,227,200	△111,611,373,442	△116,700,609,080
(D) 受益権総口数	203,124,330,164口	200,941,504,600口	199,232,309,799口	195,953,337,320口	192,881,288,055口	190,809,254,338口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,303円	4,395円	4,320円	4,265円	4,213円	3,884円

○損益の状況

項 目	第198期	第199期	第200期	第201期	第202期	第203期
	2019年9月10日～ 2019年10月8日	2019年10月9日～ 2019年11月8日	2019年11月9日～ 2019年12月9日	2019年12月10日～ 2020年1月8日	2020年1月9日～ 2020年2月10日	2020年2月11日～ 2020年3月9日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 10,500	△ 6,403	△ 9,883	△ 10,278	△ 5,343	△ 3,981
受取利息	586	—	400	—	138	—
支払利息	△ 11,086	△ 6,403	△ 10,283	△ 10,278	△ 5,481	△ 3,981
(B) 有価証券売買損益	△ 312,490,456	2,835,240,272	△ 803,407,935	△ 414,400,695	△ 334,551,502	△ 5,642,677,849
売買益	6,567,304	2,870,294,890	15,930,832	26,713,139	25,748,963	16,890,308
売買損	△ 319,057,760	△ 35,054,618	△ 819,338,767	△ 441,113,834	△ 360,300,465	△ 5,659,568,157
(C) 信託報酬等	△ 81,171,725	△ 87,285,831	△ 85,755,215	△ 82,588,457	△ 88,030,415	△ 71,635,236
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 393,672,681	2,747,948,038	△ 889,173,033	△ 496,999,430	△ 422,587,260	△ 5,714,317,066
(E) 前期繰越損益金	△ 29,474,266,939	△ 29,489,947,016	△ 26,539,502,247	△ 26,959,548,588	△ 27,034,418,602	△ 27,170,667,884
(F) 追加信託差損益金	△ 84,934,815,452	△ 84,977,126,416	△ 85,129,971,666	△ 84,330,819,171	△ 83,575,723,716	△ 83,243,196,367
(配当等相当額)	(21,335,000,611)	(20,343,495,176)	(19,514,223,367)	(18,763,145,089)	(18,045,591,232)	(17,413,755,973)
(売買損益相当額)	(△106,269,816,063)	(△105,320,621,592)	(△104,644,195,033)	(△103,093,964,260)	(△101,621,314,948)	(△100,656,952,340)
(G) 計 (D + E + F)	△114,802,755,072	△111,719,125,394	△112,558,646,946	△111,787,367,189	△111,032,729,578	△116,128,181,317
(H) 収益分配金	△ 914,059,485	△ 904,236,770	△ 597,696,929	△ 587,860,011	△ 578,643,864	△ 572,427,763
次期繰越損益金 (G + H)	△115,716,814,557	△112,623,362,164	△113,156,343,875	△112,375,227,200	△111,611,373,442	△116,700,609,080
追加信託差損益金	△ 85,706,687,906	△ 85,640,233,381	△ 85,568,282,748	△ 84,761,916,513	△ 84,019,350,679	△ 83,682,057,652
(配当等相当額)	(20,564,390,836)	(19,681,521,631)	(19,077,047,056)	(18,332,993,886)	(17,602,771,255)	(16,975,405,041)
(売買損益相当額)	(△106,271,078,742)	(△105,321,755,012)	(△104,645,329,804)	(△103,094,910,399)	(△101,622,121,934)	(△100,657,462,693)
分配準備積立金	15,133,778	13,193,157	10,445,127	2,095,236	19,139,946	277,854
繰越損益金	△ 30,025,260,429	△ 26,996,321,940	△ 27,598,506,254	△ 27,615,405,923	△ 27,611,162,709	△ 33,018,829,282

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ① 作成期首 (前作成期末) 元本額 204,695,915,166円
 作成期中追加設定元本額 7,910,866,580円
 作成期中一部解約元本額 21,797,527,408円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.3884円です。

② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は116,700,609,080円です。

③ 分配金の計算過程

項 目	2019年9月10日～ 2019年10月8日	2019年10月9日～ 2019年11月8日	2019年11月9日～ 2019年12月9日	2019年12月10日～ 2020年1月8日	2020年1月9日～ 2020年2月10日	2020年2月11日～ 2020年3月9日
費用控除後の配当等収益額	148,449,559円	239,303,040円	155,961,302円	148,455,744円	152,028,236円	114,437,558円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	21,336,263,290円	20,344,628,596円	19,515,358,138円	18,764,091,228円	18,046,398,218円	17,414,266,326円
分配準備積立金額	8,871,250円	15,019,922円	13,869,672円	10,402,161円	2,128,611円	19,406,774円
当ファンドの分配対象収益額	21,493,584,099円	20,598,951,558円	19,685,189,112円	18,922,949,133円	18,200,555,065円	17,548,110,658円
1万口当たり収益分配対象額	1,058円	1,025円	988円	965円	943円	919円
1万口当たり分配金額	45円	45円	30円	30円	30円	30円
収益分配金金額	914,059,485円	904,236,770円	597,696,929円	587,860,011円	578,643,864円	572,427,763円

○分配金のお知らせ

	第198期	第199期	第200期	第201期	第202期	第203期
1 万口当たり分配金 (税込み)	45円	45円	30円	30円	30円	30円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・2020年1月1日以降の分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

豪ドル債券インカムマザーファンド

《第7期》決算日2020年3月9日

[計算期間：2019年3月9日～2020年3月9日]

「豪ドル債券インカムマザーファンド」は、3月9日に第7期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第7期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	主として高格付の豪ドル建ての公社債に投資を行います。 投資にあたっては、オーストラリアの国債、政府機関債、AA格相当以上の格付を有する州政府債および政府保証債等、ならびにオーストラリア以外のAA格相当以上の格付を有する政府機関債および国際機関債等に分散投資を行います。 運用にあたっては、ポートフォリオの平均デュレーションを1年以上5年以内とします。 デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	豪ドル建ての公社債を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
3期(2016年3月8日)	10,150	△7.3		98.1	—	133,102
4期(2017年3月8日)	10,635	4.8		96.9	—	128,734
5期(2018年3月8日)	10,433	△1.9		97.9	—	117,008
6期(2019年3月8日)	10,182	△2.4		97.8	—	102,776
7期(2020年3月9日)	9,228	△9.4		97.9	—	76,855

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
(期 首) 2019年3月8日	円 10,182	—	—	—	% 97.8
3月末	10,315	1.3	—	—	97.9
4月末	10,324	1.4	—	—	97.7
5月末	10,008	△1.7	—	—	97.6
6月末	10,076	△1.0	—	—	97.4
7月末	10,016	△1.6	—	—	97.2
8月末	9,661	△5.1	—	—	97.3
9月末	9,827	△3.5	—	—	97.8
10月末	10,122	△0.6	—	—	98.1
11月末	10,035	△1.4	—	—	97.5
12月末	10,278	0.9	—	—	96.5
2020年1月末	9,952	△2.3	—	—	97.3
2月末	9,804	△3.7	—	—	98.4
(期 末) 2020年3月9日	9,228	△9.4	—	—	97.9

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ9.4%の下落となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

- ・債券利子収益を享受したことや豪州金利が低下したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

- ・豪ドルが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎債券市況

- ・豪州金利は低下しました。
- ・豪州の低迷しているインフレ率などを背景に豪州連邦準備銀行 (RBA) が政策金利を複数回引き下げたことや、新型コロナウイルスの拡散などにより世界経済の減速懸念が高まったことなどから、豪州金利は低下しました。

◎為替市況

- ・豪ドルは対円で下落しました。
- ・2019年8月にかけては、米中通商問題に対する懸念が高まった局面で、豪ドルは対円で下落しました。12月にかけて、米中通商問題や英国の欧州連合（EU）からの合意なき離脱に対する懸念が後退したことなどを背景に、豪ドルは対円で緩やかな上昇基調で推移しましたが、その後、新型コロナウイルスの拡散により、投資家のリスクセンチメントが悪化したことなどから、豪ドルは対円で下落しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

◎組入比率

- ・期を通じて、豪ドル建ての債券現物の組入比率は高位を維持しました。なお、デュレーション（平均回収期間や金利感応度）調整のため、債券先物も活用しました。

◎デュレーション

- ・ファンド全体のデュレーションは、RBAの緩和的な金融政策を見込み、利下げの織り込みを注視しながら、機動的に操作しました。結果、期末のデュレーションは2.8年程度となっています。

◎残存期間構成

- ・デュレーションを短期化する局面では短期ゾーンの組入比率を高めとし、長期化する局面では中長期ゾーンの組入比率を高めとしました。

◎債券種別構成

- ・豪州国債に対する相対的なスプレッド（利回り格差）動向を睨みながら、債券種別構成を調整しました。当期は、国債の組入比率を引き下げ、国際機関債などの組入比率を引き上げました。

○今後の運用方針

（組入比率）

- ・安定した利子収益の確保をめざし、引き続き債券現物の高位組み入れを維持する方針です。

（デュレーション）

- ・豪州の金融政策の方向性、グローバルな景気動向を睨みながら、機動的に操作する方針です。

（残存期間構成）

- ・デュレーションを長期化する局面では中長期ゾーンを、短期化する局面では短期ゾーンの組入比率を高めとする方針です。

（債券種別構成）

- ・国債に対する相対的なスプレッド動向や市場のボラティリティ変動要因などに注視し、必要に応じて組入比率を調整する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2019年3月9日～2020年3月9日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション)	円 0 (0)	% 0.002 (0.002)	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0.010 (0.010) (0.000)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	1	0.012	
期中の平均基準価額は、10,027円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年3月9日～2020年3月9日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	オーストラリア		千オーストラリアドル	千オーストラリアドル
		国債証券	480,702	738,932
		特殊債券	396,891	328,864

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国	債券先物取引	百万円 29,559	百万円 29,092	百万円 29,555	百万円 29,092

(注) 外国の取引金額は、各月末(決算日の属する月の月初から決算日までの分については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2019年3月9日～2020年3月9日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
為替直物取引	—	—	—	17,590	509	2.9

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行です。

○組入資産の明細

(2020年3月9日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	%	%	%	%	%
オーストラリア	1,038,000	1,115,825	75,251,296	97.9	—	10.4	60.2	27.3
合 計	1,038,000	1,115,825	75,251,296	97.9	—	10.4	60.2	27.3

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末						償還年月日
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
オーストラリア	%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円			
国債証券	1.75 AUST GOVT 201121	1.75	90,000	90,842	6,126,415	2020/11/21	
	2.75 AUST GOVT 240421	2.75	45,000	49,330	3,326,836	2024/4/21	
	5.5 AUST GOVT 230421	5.5	5,000	5,794	390,812	2023/4/21	
	AUSTRALIA T-BILL 200821	—	65,000	64,829	4,372,080	2020/8/21	
特殊債券	1 NEWSWALES 240208	1.0	15,000	15,162	1,022,569	2024/2/8	
	1.1 ASIAN DEV 240815	1.1	10,000	10,081	679,881	2024/8/15	
	1.45 INTL FINAN 240722	1.45	10,000	10,230	689,961	2024/7/22	
	1.5 VICTORIA 301120	1.5	15,000	15,426	1,040,329	2030/11/20	
	1.7 EIB 241115	1.7	10,000	10,345	697,687	2024/11/15	
	1.95 IADB 240423	1.95	10,000	10,433	703,606	2024/4/23	
	2 NEWSWALES 330308	2.0	10,000	10,689	720,930	2033/3/8	
	2.2 IBRD 240227	2.2	25,000	26,291	1,773,127	2024/2/27	

銘柄	当 期 末					
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
オーストラリア	%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円		
特殊債券	2.4 EXPORT DEVELO 210607	2.4	15,000	15,307	1,032,315	2021/6/7
	2.4 KFW 200702	2.4	10,000	10,054	678,094	2020/7/2
	2.5 INTL BK RECON 200312	2.5	10,000	10,001	674,473	2020/3/12
	2.65 ASIAN DEV 230111	2.65	10,000	10,521	709,545	2023/1/11
	2.7 EXPORT DEVELO 221024	2.7	10,000	10,493	707,701	2022/10/24
	2.7 INTL FINAN 210205	2.7	20,000	20,356	1,372,868	2021/2/5
	2.7 INTL FINAN 230315	2.7	5,000	5,277	355,907	2023/3/15
	2.7 LANDWIRTSCH. 220905	2.7	20,000	20,946	1,412,657	2022/9/5
	2.75 ASIAN DEV 220119	2.75	20,000	20,736	1,398,483	2022/1/19
	2.75 INTER-AMERIC 251030	2.75	10,000	10,974	740,122	2025/10/30
	2.75 WEST AUST TR 221020	2.75	40,000	42,188	2,845,211	2022/10/20
	2.8 IBRD 210113	2.8	15,000	15,258	1,029,019	2021/1/13
	2.8 IBRD 220112	2.8	20,000	20,746	1,399,175	2022/1/12
	2.8 INTL FINAN 220815	2.8	27,000	28,321	1,910,019	2022/8/15
	2.8 KFW 210217	2.8	30,000	30,582	2,062,456	2021/2/17
	2.8 KFW 230307	2.8	30,000	31,748	2,141,118	2023/3/7
	2.9 EUROPEAN INVE 251017	2.9	10,000	11,035	744,235	2025/10/17
	3.25 QUEENSLAND 280721	3.25	20,000	23,462	1,582,315	2028/7/21
	3.75 ASIAN DEVELO 250312	3.75	20,000	22,752	1,534,404	2025/3/12
	3.75 INTER-AMERIC 220725	3.75	30,000	32,094	2,164,451	2022/7/25
	4 INTER-AMERICAN 230522	4.0	10,000	10,997	741,664	2023/5/22
	4.25 INTL BK RECO 250624	4.25	10,000	11,712	789,893	2025/6/24
	4.25 INTL FINANCE 230821	4.25	15,000	16,739	1,128,901	2023/8/21
	4.25 LANDWIRTSCH 250109	4.25	20,000	23,139	1,560,541	2025/1/9
	4.25 QUEENSLAND 230721	4.25	120,000	134,225	9,052,156	2023/7/21
	4.25 RENTENBANK 230124	4.25	20,000	21,938	1,479,558	2023/1/24
	4.75 BK NEDERLAND 230306	4.75	10,000	11,143	751,500	2023/3/6
	4.75 NEDER WATERS 230411	4.75	4,000	4,467	301,268	2023/4/11
	4.75 QUEENSLAND 250721	4.75	10,000	12,071	814,083	2025/7/21
	5 EUROPEAN INVEST 220822	5.0	10,000	11,029	743,811	2022/8/22
	5 KFW 240319	5.0	10,000	11,639	784,977	2024/3/19
	5.5 LANDWIRTSCH 220329	5.5	30,000	32,889	2,218,062	2022/3/29
	5.75 QUEENSLAND 240722	5.75	20,000	24,325	1,640,530	2024/7/22
	6 QUEENSLAND 220721	6.0	15,000	16,881	1,138,502	2022/7/21
	6 WEST AUST TREAS 231016	6.0	40,000	47,555	3,207,169	2023/10/16
	6.5 KOMMUNALBANKE 210412	6.5	12,000	12,749	859,857	2021/4/12
合 計					75,251,296	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2020年3月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	75,251,296	96.2
コール・ローン等、その他	2,990,621	3.8
投資信託財産総額	78,241,917	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (77,327,214千円) の投資信託財産総額 (78,241,917千円) に対する比率は98.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=67.44円		
--------------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年3月9日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	78,916,217,268
コール・ローン等	2,280,045,462
公社債(評価額)	75,251,296,359
未収入金	702,100,000
未収利息	441,686,663
前払費用	44,041,692
差入委託証拠金	197,047,092
(B) 負債	2,060,893,835
未払金	1,383,074,168
未払解約金	677,819,393
未払利息	274
(C) 純資産総額(A-B)	76,855,323,433
元本	83,285,682,362
次期繰越損益金	△ 6,430,358,929
(D) 受益権総口数	83,285,682,362口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,228円

<注記事項>

- ①期首元本額 100,938,698,555円
 期中追加設定元本額 2,984,775,524円
 期中一部解約元本額 20,637,791,717円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.9228円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)
 三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン 80,105,433,115円
 三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン(年1回決算型) 3,180,249,247円
 合計 83,285,682,362円

- ③純資産総額が元本額を下回っており、その差額は6,430,358,929円です。

○損益の状況 (2019年3月9日～2020年3月9日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	2,825,710,507
受取利息	2,825,906,306
支払利息	△ 195,799
(B) 有価証券売買損益	△11,051,308,876
売買益	1,682,377,506
売買損	△12,733,686,382
(C) 先物取引等取引損益	△ 9,500,243
取引益	207,777,552
取引損	△ 217,277,795
(D) 保管費用等	△ 9,215,885
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△ 8,244,314,497
(F) 前期繰越損益金	1,837,674,446
(G) 追加信託差損益金	13,940,721
(H) 解約差損益金	△ 37,659,599
(I) 計(E+F+G+H)	△ 6,430,358,929
次期繰越損益金(I)	△ 6,430,358,929

(注) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。